

Product Information

Protease Inhibitor Cocktail 哺乳類細胞および組織抽出用

製品番号 P8340

保存温度 -20 °C

製品概要

細胞粗抽出液にはプロテアーゼやホスファターゼなど多数の内因性酵素が含まれており、これらの酵素は抽出液中のタンパク質を分解する可能性があります。無傷のタンパク質の収量を向上させる最善の方法は、存在が知られている酵素の阻害剤を添加することです。このプロテアーゼインヒビターカクテルは哺乳類の細胞と組織の抽出液に最適化され、検査されています。セリン、システイン、酸性プロテアーゼおよびメタロプロテアーゼなど広範囲な阻害特異性を持つインヒビターを含んでいます。

成分の具体的な阻害特性は次の通りです。

- AEBSF – [4-(2-アミノエチル)ベンゼンスルホニルフルオリド塩酸塩] – トリプシン、キモトリプシン、プラスミン、カリクレイン、トロンビンなどのセリンプロテアーゼを阻害します。
- アプロチニン – トリプシン、キモトリプシン、プラスミンおよびカリクレインなどのセリンプロテアーゼを阻害します。ヒト白血球エラスターゼを阻害しますが、肺エラスターゼは阻害しません。
- ベスタチン塩酸塩 – ロイシンアミノペプチダ-ゼ、アラニルアミノペプチダ-ゼなどのアミノペプチダ-ゼを阻害します^{1,2,3,4}。
- E-64 – [N-(トランス-エポキシサクシニル)-L-ロイシン4-グアニジノブチルアミド] – カルパイン、パパイン、カテプシンB、カテプシンLなどのシステインプロテアーゼを阻害します。
- ロイペプチノヘミ硫酸塩 – プラスミン、トリプシン、パパイン、カテプシンBなどのセリンおよびシステインプロテアーゼの両方を阻害します。
- ペプスタチンA – ペプシン、レニン、カテプシンD、多くの細菌性アスパラギン酸プロテアーゼなどの酸性プロテアーゼを阻害します。

使用例

本カクテル1 mLで、ウシ肝臓20 g (湿重量) から得られた細胞溶解物100 mL、または細胞密度 10^8 個/1 mLのCHO細胞から得られた細胞溶解物10 mLに含まれる内因性酵素の抑制能が得られます。CHO細胞は10% FCS (加熱非効化) 添加DMEM中で培養しました。

注: すべての細胞溶解物に同レベルの内因性酵素が含まれるわけではありません。カクテル所要量を調整する必要があることもあります。

試薬

DMSO溶液として供給されます。

ご使用前の注意と免責事項

弊社の製品は試験研究用のみを目的として販売されています。医薬品、家庭用その他試験研究以外の用途には使用できません。危険性や安全な取り扱いに関しては化学物質安全データシート (MSDS) をご覧ください。

保存/安定性

カクテルは -20 °Cで保存してください。未開封の本製品は、-20 °Cで4年間、2~8 °Cで8ヵ月間、室温では2ヵ月間安定しています。

参考文献

1. Umezawa H., *Ann. Rev. Microbiol.*, **36**, 75-99 (1982).
2. Aoyagi, T. et al, *Biochem. Int.*, **9**, 405-411 (1984).
3. Aoyagi T., and Umezawa, H., *Acta Biol. Med. Ger.*, **40**, 1523-1529 (1981).
4. Mumford, R. A. et al, *Biochem. Biophys. Res. Comm.*, **103**, 565-572 (1981).

AP,NDH,PHC 02/06-1

Sigma ブランド製品は Sigma-Aldrich, Inc.を通じて販売されています。

Sigma-Aldrich, Inc.は同社製品がこの文書および他の Sigma-Aldrich 発行文書に含まれる情報に合致していることを保証します。お客様の個別の用途と製品の適合性についてはお客様にてご判断ください。収載の品目、製品情報、価格などは予告なく変更される場合がございます。納品伝票または同梱の内容明細書の裏面をご覧ください。